

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 50′ 18″		
				経度	137° 32′ 48″		
新滝橋 (フリガナ)シンタキバシ	村道第41号線	長野県木曽郡王滝村					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
長野県 王滝村	2017.11.17	小股沢	無	一般道	その他	無し	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原 潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅲ	洗掘	写真4 下部工 01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)				措置後に記録	
点検時に記録				(再判定区分)	
(判定区分) Ⅲ	(所見等)	下部工に洗掘、鉄筋露出が生じている。 早期に措置を講ずべき状態。		(再判定実施年月日)	

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員			
1975年	4m	8.2m			
			起点側		終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造【判定区分：Ⅲ】		下部構造【判定区分：Ⅲ】	
写真3		写真4	
			
下部工01 鉄筋露出		下部工01 洗堀	
【判定区分：】		【判定区分：】	